



**サンクスギビングデー**毎年11月の第四木曜日にアメリカの感謝祭であるサンクスギビングデーが行われます。この感謝祭では、親戚が集まり、みんなで大きなターキーを頂く習慣があります。今回、私たち名古屋学院大学の留学生3名は別々の家庭で、それぞれこのアメリカでもっとも重要なイベントの一つに参加させて頂きました。ここでそれぞれのコメントを紹介します。

大学のコミュニティーメンバーの方に thanksgivingのディナーにご招待いただき、豪華な料理をご馳走になりました。ターキーやマッシュドポテト、パンプキンパイなど、どの料理もとても美味しかったです。ご招待いただいた家は驚くほど広くてオシャレでした。非常に貴重な体験となりました。 加藤



私はお友達の家でサンクスギビングを体験させて頂きました。おばあ様が料理してくださったターキーが、オーブンでソースを時折かけながら6時間以上焼く必要があると聞いた時にはとても驚きました。頂いたターキーはとてもジューシーに仕上がっていて、とても美味しかったです。他にも定番のマッシュポテトや、いくつかの料理が用意され、それらは大皿に載せられて、ビュッフェ形式で頂きました。食後には6種類程の様々なパイを焼いてくださり、夜にはみんなで数種類のカードゲームを楽しみました。思い出に残る1日となりました。 丹羽



**シラキュース大学**で日本語を学ぶ学生達と交流会を行いました。学生の多くは流暢な日本語を話し、中には日本語検定1級を目指している生徒もいました。また、東海大学から留学に来ている学生2名も参加してくださり、彼らの英語にも刺激を受けました。交流会では日本から持参した抹茶をみなさんに振る舞い、良い異文化交流が出来ました。加藤君、鈴木君も積極的に手伝ってくれ、大勢への慣れない呈茶でしたが、とても心強かったです。この会は、日本語クラスのKaori LaClair先生が企画してくださり、実現しました。当日みんなで頂いたおまんじゅうも先生が用意してくださり、日本語学習者のみんなにとっては日本文化に触れる良い機会であり、私たち日本からの交換留学生にとっては久しぶりに日本を感じる場となりました。また交流会の後に出かけた日本料理店では、お刺身やお寿司、トンカツ、ラーメン、豚の生姜焼きなどをそれぞれ注文し、久しぶりの和食を楽しみました。



—シラキュース大学にて—

カゼノビア大学で日本語を勉強している学生と、シラキュース大学で日本語を勉強している学生とで交流会をしました。留学生の僕達もそこに参加させてもらい、みんなで抹茶や和菓子を頂きました。その後日本料理のレストランへ行き、夕食を食べました。どの料理もとても美味しかったです。鈴木



—日本語クラスのKaori LaClair先生—

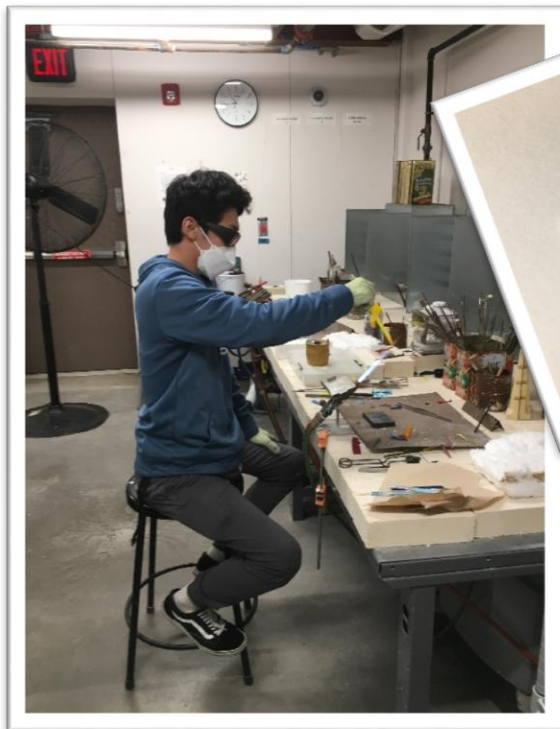
**先生紹介**今回は日本語クラスのKaori LaClair先生を紹介します。かおり先生は、シラキュース大学で日本語を教えていらっしゃる、今学期からカゼノビア大学でも教鞭を取られることとなりました。先生はいつも私たち留学生を気にかけてくださり、シラキュース大学との異文化交流会や、クリスマスツリーカット体験を計画して下さいました。私たちは、先生のお人柄の良さと行動力にいつも励まされています。

## クリツツファーム

にクリスマスツリーを切りに行って来ました！日本語クラスのかおり先生が、「アメリカでしか出来ない体験を」という事で提案してくださいました。カゼノビア大学から車で約7分の所にある観光農園のクリツツファームは、林檎狩りや、ハロウィン用のパンプキン、ハードサイダー（林檎で作ったビール）、クリスマスツリーを購入する事ができます。沢山植えられているクリスマスツリーの中から、自分たちで木を選び、カットしました。クリスマスツリーは水の入れた容器に入れ、部屋に飾ってあります。



—クリツツファームにて—



—授業風景—

**キリン・グラスクラス**ではカットしたガラスを窯で焼く方法以外にも、ガスを使用したトローチでも作品を作成します。トローチでは、溶かしたガラスを引き延ばしてガラスの葉っぱを作ったり、棒状のガラスであるストリンガーを作ったりします。上の写真では、ガラス玉であるフリット・ボールを作成しています。フリットボールは、お皿やコースターを作る時のデザインの一部に使用したり、加工してピアスなどのアクセサリにする事ができます。クラスでは他に、型を作成し、ガラスを溶かし込むキャストイング・グラスや、ガラスのコップを作成しました。自分たちの手の型を取って作成したキャストイング・グラスはとても良い思い出となりました。



作品の一部